

-----2月13日-----

今週のアウトルック (2/13 ~ 2/17)

先週は全般的に円安が一段進みました。リスクオンセンチメントの拡大というよりは、米国雇用統計の好結果を背景に、EUの状況が落ち着いているうちに、一度買い戻しを進めようという状況なのかもしれません。週末にはギリシャ情勢の不透明感が増したことから、再び円高方向に戻して終了しています。

今週はテクニカル的な要因が優先されるのではないかと考えています。

ドル円は先々週の米国雇用統計の好結果を背景に、ドルの買い戻しが進んでいます。77円台後半まで円安が進み、78円台前半のレジスタンスをどう切り抜けるかによって、今後の状況が大きく変わりそうです。今週はこのレジスタンスで一度跳ね返される可能性が少し高いのではないかと考えています。

ドル円の予想レンジは77.2円から78.2円です。

ユーロもレジスタンスをどう処理するか今後の展開が大きく変わりそうです。104円から105円の壁をあっさりと抜けられれば、108円あたりまで円安が進みそうですが、一度戻される可能性の方が少し高いのではないかと考えています。また、ギリシャ情勢が大きくデフォルトに傾いた場合には、一気に円高に向かう可能性が強いため、十分に注意する必要がありそうです。

ユーロ円の予想レンジは101円から105円です。

ポンドは、ドルの買い戻しに合わせて、ポンド高が進んでいます。一度122.5円あたりのレジスタンスをクリアしていることから、何も起こらなければ、125円台まで円安が進む可能性もあるかもしれません。

ポンド円の予想レンジは121円から125円です。

今週も何もなければ円安的なセンチメントが強いようには思いますが、買い戻しも一段落的な状況になれば、方向感が定まらない動きとなるかもしれません。

* 免責事項 *

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。